

平成24年10月12日

永平寺町議会議長 伊藤博夫 様

永平寺町 産業建設常任委員会  
委員長 川治孝行

## 復 命 書

平成24年度 産業建設常任委員会の先進地視察を下記の通り実施いたしましたので報告いたします。

### 記

**(1)研修月日** 平成24年9月24日(月)～25日(火)

参加者：川治、河合、小畑、斉藤、上坂、渡辺 \*委員外：川崎、多田、伊藤 計 9名

**(2)研修(視察)地**

9月24日 石川県野々市 市役所 & 「富堅用水マイクロ発電所」

岐阜県高山市 「桜香の湯」(道の駅桜の郷荘川)

9月25日 長野県大町市 (ぽかぽかランド美麻・・・温泉施設)(ぽかぽかランド美遊・・・道の駅)

**(3)研修目的**

- \* 永平寺町における小水力発電の可能性を模索し、今後の検討資料とする、
- \* 健康福祉施設と道の駅との併設とした経緯と目的及び併設によるメリット、デメリット、  
又現時点での温泉施設と道の駅の経営状態と今後の目標と課題等を検索する、

**(4)研修報告**

別添資料の通り・・・(参照)

## 研修内容

### ● 平成24年9月24日 石川県野々市市 富樫用水マイクロ発電所

#### 視察事項：小水力発電について

\* 野々市市のマイクロ発電は、東日本震災前に全国に先駆けて国庫補助を受け施工された、又現在は売電価格も上がり、発電機自体も需要が伸びていることから低価格となることが予測される、野々市市では本流に設置せず導水路に発電機を設置していることから、工事費が高くなっているが市議の説明によると、本川設置の場合は5,000千円程度でできるとのことです、

\* 出力100KW以下の発電をマイクロ水力発電といふ、水力発電は流量と落差が大きいほど豊富な発電量が得られる。

### ● 研修内容

(1)小水力発電所を取り組んだ経緯と事業費等について

(2)発電所の発電量と維持管理の経費及び支援策について

\* 富樫用水マイクロ発電所は小水力発電工事等技術強化対策事業の低コスト発電設備実証事業として採択された、補助率内訳：調査費100% 工事費・・・国50%、県、町 50%  
事業主体；土地改良事業団連合会・・・補助率 100% 国交省・・・水利権申請～許可(4ヶ月)  
着工 平成22年3月・・・完成(実稼働) 22年6月

建設事業費 C=44,000万円 工事費 C=35,000万円 委託費 C=5,000千円  
事務費 C=4,000千円

\* 導水路 C=11,000円 L=25.0m 高低差 H=1.0M 必要発電水量 V=0.38m<sup>3</sup>/min(秒)  
導水路設置理由・・・本川用水路は緊急時及び修繕等に於いて閉鎖できない為導水路で対応  
本川の水門 C=10,500千円 分電盤 C=10,000千円 電気設備C=8,500千円

\* 発電機マイクロ小水力発電施設(北陸セキサンkk) C=2,500,000円

#### \* 事業の主旨、内容

農業用水利施設への小水力発電を活用した再生エネルギーの導入と普及推進を目的とし、農業用水の落差を利用した発電施設ある、

#### \* 発電機器と発電出力、売電価格

発電機器・・・らせん水車(落差工設置型)

発電出力・・・約2.4KW(年間約21,000KW 約5世帯分の電力相当)・・・稼働率100%とした時  
発電は200ボルトのため発生電力は北電に売却し、必要電力100ボルトを購入している。  
売電収益 240,000円/年 但し：集中豪雨、等の自然災害から実働は1/3程度となる  
有効利用・・・隣接する遊歩道街路の照明灯に電気量を充当している、

#### \* 現在の管理者・・・野々市市が管理している、

管理 ゴミ除去・・・10日～15日に一度(1時間程度)ゴミ除去

点検等 機器の点検2年に一度(100,000円程度)。オーバーフル10年に一度(500,000円程度)

年間維持管理費 電気代 30,000円 その他 48,000・・・計78,000円/年(1/3,売電80,000円/年)

環境：12t/年の二酸化炭素削減(100%稼働時)

#### \* 参考資料・・・別紙添付資料参照

## 研修内容

### ● 平成24年9月24日

#### 岐阜県高山市(桜の郷荘川) \*温泉施設と道の駅と併設した施設

\*事業年度 平成9年～14年度 県営 中山間地域農村活性化総合整備事業、  
地域農業基盤確立農業構造改善事業

事業経過 平成9年～平成13年 用地取得 9年12月19日温泉湧出(自噴)  
道の駅駐車場、荘川ドーム、交流ターミナル施設、荘川温泉(桜香の湯)  
特産物販売施設、無散水融雪装置、道の駅(桜の郷 荘川)

施設の規模 道の駅 20,000m<sup>2</sup> 駐車場156台 大型車5台 障害者2台(屋根付き)  
路線バス停車スペース 二輪駐車スペース バリアフリー化、休息施設、交流ターミナル  
露天風呂、家族風呂、リラク্সルーム、研修室、荘川ドーム(多目的ホール)、  
パウダールーム、山地形成促進施設、販売施設「さくら」、農特産物、土産販売  
隣接施設・・・ガラス温室 210m<sup>2</sup> 桜の郷農園(市民農園) 5,500m<sup>2</sup> 100区画

#### \*研修内容

##### (1)健康福祉施設と道の駅との併設とした経緯と目的

\*御母衣ダム建設に伴い湖底に沈む2本の老桜(荘川桜 樹齢500年)の桜の木の移植に成功し、2本の  
荘川桜を心のふる里とすべく駅名の由来とした、又東海北陸自動車道荘川インター入口にあり、荘川  
自慢の自噴で高温良泉のひだ荘川温泉(桜香の湯)でくつろげる、別荘1,200戸の全トヨタ労連のふる  
さと村の拠点であり、清流「荘川」が流れておりその景観は素晴らしく、今後(道の駅)を立ち寄り拠点の  
中心として都市と農村の拡大を基調とした地域振興を目指しています、

##### (2)現時点で併設したことによるメリット、デメリット

\*室内多目的広場(ゲートボール場)、道の駅、荘川温泉(桜香の湯)は各々経営者が違う、  
室内多目的広場(ゲートボール場)は利用者数が少ない(社会福祉協議会)

\*3施設の経営者が違うため、各種イベントや催しものの開催に当たっては不都合な点が多く今後の課題、

\*道の駅、荘川温泉(桜香の湯)とは経営を一体化した方が得策と思う。

##### (3)現時点の温泉施設と道の駅の経営状態

指定管理事業の概要[財団法人荘川観光振興公社]

\*高山市より 桜香の湯、ソバの里、荘川の郷 の3施設を指定管理事業として受託している。

指定管理 契約期間 5年間定額 但し:道の駅(売上80,000千円)とは別会計です。

基準収入額=230,000千円 指定管理料=22,000千円 営業時間 AM:10:00～PM:8:00(8:30)

\*東海北陸道(高速)開通以前の18年19年收入250,000千円 入場者145,000人～160,000人と増加  
したが平成20年度に東海北陸道が開通したことにより年間収入額 約25,000千円 入場者約10,000人の  
減となっている。

##### (4)今後の目標と課題

\*誘客促進・・・観光協会及び支所との連携を図る

\*地域還元型の施設への提案を図る

\*団体客の積極的な受け入れと地元観光企業との連携を図る

\*ニューツーリズムの推進を図り旅館組合との連携を密にする

\*地域の雇用対策として職員の活用を図ると共に維持管理の削減を図る。

\*販路の拡大として道の駅との連携事業を促進し、特産品の開発に勤める

## 研修内容

平成24年9月25日 長野県大町市(ぽかぽかランド美麻&美遊)

### \*ぽかぽかランド美麻・・・事業名 自治省まちづくり総合事業（観光施設整備事業）

温泉掘削（引湯工事含む） 起工：平成2年12月25日～竣工：平成3年7月31日（7ヶ月）

工期（本体、電気、機械、工事含む） 起工：平成4年1月28日～竣工：平成5年5月10日

施設の概要・・・温浴施設（露天風呂、ドリームバス、打たせ湯、リラックス・ローリングバス、サウナ）

宿泊施設、駐車場、レストラン、土産物、大会議室、小会議室、会議室、

和室、和洋室、ティーラウンジ、やすらぎの間（日帰り客用）、石庭

### \*ぽかぽかランド美遊(道の駅)・・・過疎地若者定住促進等緊急プロジェクト事業

アスレチックスライダー、多目的広場（屋内）、直売所、ウッドコンビネーション、交流室、便所棟、

## ●温泉施設と道の駅との併設

### \*研修内容

#### (1)健康福祉施設と道の駅との併設とした経緯と目的

1998年冬季5輪開催に備え長野主会場と白馬会場を結ぶ道路整備の5輪道路沿いに、ぽかぽかランド美麻(温泉)と ぽかぽかランド美遊(道の駅) を併設する事によって相乗効果による美麻村の発展を軸として計画された。現在一括して指定管理者が運営管理している

#### (2)現時点で併設したことによるメリット、デメリット

##### メリット

\* 併設したことによるメリットは多少収益が上がった。

##### デメリット

\* 道路網の導線が悪い・・・幅員狭少による 大型バス、大型車両の出入りが悪く拡幅改良が必要

\* 目玉となるものがない、・・・永平寺町は大本山永平寺が最大のメリットでありうらやましい、

\* イベントの物販に対して温泉の割引券を出しているが効果はあまり出ていない。

\* 室内ゲートボールの多目的広場の使用が少ない・・・(お荷物的存在)

#### (3)現時点の温泉施設と道の駅の経営状態

\* 源泉より送水管で引き湯をしていたが、源泉温度が25度に低下し湯量も少ない為、現在はタンクローリーで輸送して来ている、(加温必要)このため必要経費が高くなっている。

\* 近隣に同様の施設が数ヶ所あり客の取り合いとなっている、・・・誘客数減少

\* (美麻) 23年度決算 収入 153,736,252円 支出 145,760,468円 (+7,975,784円)

\* (美優) 23年度決算 収入 2,100,000円 支出 2,233,713円 (- 133,713円)

上期：順調に推移したが、下期：スキー客の減と灯油の値上げにより、売上減少、経費面で利益を圧迫

\* 地元を中心に宴会客が順調に増加し、宿泊客もネットのアピールアップによってアップしたが、フリーの入浴とレストラン食事が大きくダウン(冬季) し全体的には多少のアップにとどまった。

#### (4)今後の目標と課題

\* 地元農産物をはじめ、老人クラブ、自治会、支所と連携すると共に美麻市へ参加し地域づくり会議に出席し、地元住民の雇用も昨年同様配慮したい。

\* 燃料、食材、等地元業者から仕入れ、施設内での地元直売所の出店も継続し連携していく、

\* 建設当時は美麻村、美麻市と管理者が推移してきたが、平成22年より指定管理者制度になり契約期間3年で25年3月に更新されるが、更新期間を5年になるよう申請する予定。







